

研究課題	メタバースで創る参加型周年行事モデルの開発
副題	～過去・現在・未来をつなぐ周年行事～
キーワード	
学校/団体名	公立杉並区立沓掛小学校
所在地	〒167-0033 東京都杉並区清水 3-1-9
ホームページ	https://www15.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1310303

1. 研究の背景

杉並区立沓掛小学校では、創立70周年を迎える。しかし、同窓会や地域の世代交代が進まず、周年実行委員として実働する人員が集まらない。またPTA活動に対する関心も低下の一途をたどっている。こうした地域や保護者の状況では、10年前のような対面型集合型の実施は難しい。一方、児童が主役で、参加型の周年行事を実現する絶好の機会でもある。保護者の中にいる卒業生。また、地域に暮らす多くの卒業生。気持ちはあっても、仕事や学業に忙しい。あるいは、協力の仕方がわからない。そうした卒業生もインターネットを活用すれば参加が可能である。周年行事を通じて故郷に関心を持ち、将来の学校運営協議会や支援本部のメンバーとして、地域と学校を支える人材育成が課題である。

2. 研究の目的

本研究のねらいとしては、以下の2点である。

(1) 教育活動面

在校生は将来の卒業生であり、未来の地域人材である。子供たちが周年行事を通して卒業生と関わることで、近い将来の生き方を描く機会を得る。そして、地域社会を担う意欲をもつことを期待する。地域の未来を拓く、主体的に行動し、参加する人材育成が本研究の教育活動面から見た目的である。

(2) 研究的側面

GIGA タブレット端末が導入されて2年が経過するが、調べ学習やそのまとめ、AIドリルといった活用が主である。それは、教師も保護者もPCが個人情報を侵害する恐れのある危険な遊び道具と思っている。その認識を変えていくことが研究的側面から見た目的である。

3. 研究の経過

時期	取り組み内容	備考
4月	周年行事委員会の実施と仕事内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・児童集会担当：実施可能なものを検討 ・記念式典担当：プロジェクションマッピングの検討 ・記念誌担当 ・記念品の選定 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・児童集会と記念式典の配信方法の検討（ICT） ・バーチャル同窓会の準備 	
5月	記念誌ページの作成 プロジェクションマッピングの作成準備 <ul style="list-style-type: none"> ・「ビスケット研究授業支援制度」の活用 ・「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の活用を検討 バーチャル同窓会準備委員会の発足	
6月	航空写真の撮影	
7月	案内状の作成、記念誌の入稿 プロジェクションマッピング用の作品作り	作品作り（児童）
8月	WEB 校内見学のパンorama撮影 プロジェクションマッピングの情報収集、打ち合わせ	（業者） （実践者）
9月	周年行事委員会での進捗状況の確認 WEB 校内見学ページの作成	作成（6年生有志）
10月4日	記念式典リハーサル	
10月5日	開校記念日：バーチャル同窓会	
10月6日	前日準備	
10月7日	杵掛小学校 開校70周年記念（会場：体育館） <ul style="list-style-type: none"> ・児童集会：全児童参加 ・記念式典：代表児童参加 ＊参加者にアンケート実施	アンケート調査
10月16日	アンケート終了 集計	アンケート集計
11月	アンケート結果の分析 成果と課題の検討	
12月～3月	実践報告書の作成、公開（ホームページ上）	

4. 代表的な実践

(1) WEB 校内見学

8月に業者がパンorama撮影をして枠組みを用意し、6年生有志の「作成委員」が休み時間に写真をとったり紹介文を考えたりして、後に残る大きな仕事としてウェブ校内見学を作成した。出来上がったものを期間限定で公開した。

(2) バーチャル同窓会

VR 空間プラットフォーム「DOOR」を利用し、杵掛小学校の卒業生の方々に創立70周年の思い出作りの場としてバーチャル同窓会場を用意した。

※WEB 校内見学とバーチャル同窓会場については、学校便りなどで保護者・地域、卒業生に周知した。



沓掛小学校だより

～元気・やさしさ・かがやく瞳～

未来を拓く

コラボレーション・イノベーション・レジリエンス

祝 創立 70 周年

沓掛小 ホームページ



「校長室から」更新中。
普段の生活はもちろん、
遠足や移動教室の様子は
こちらから

10 月号

NO. 646



校長 浅見 優子

杉並区立沓掛小学校は、昭和 28 年 4 月 1 日に開校し、10 月 5 日に 70 回目の開校記念日を迎えます。そして、10 月 7 日（土）に創立 70 周年記念児童集会和記念式典を開催します。

児童集会には沓掛小学校の卒業生に来ていただき、当時の沓掛小学校の様子や思い出を話していただく予定です。

記念式典には児童代表として 5・6 年生児童が出席します。歴代の校長先生方、地域の方々、そして沓掛小学校の先生だった方々、80 名以上の方が出席されます。沓掛小学校の保護者の方の中にも、沓掛小学校の卒業生もいらっしゃるかと伺っています。式典は 14 時過ぎに終わります。懐かしい先生方にお会いすることができるかもしれません。

WEB 校内見学



【WEB 校内見学とバーチャル同窓会場】

◀6 年生有志の力を借りて、WEB 校内見学を作成中です。枠組みは業者に作成を依頼しましたが、説明は 6 年生が作成中です。こちらの QR コードから見ることができます。沓掛小学校のホームページのバナーから見ることもできます。お子さんと一緒に校内を自由に見学してください。

▶沓掛小学校の卒業生の方々に創立 70 周年の思い出作り
思い出作りにご活用いただきたいと考え、バーチャル同窓会場を用意しました。こちらの QR コードから入ることができます。もちろん沓掛小の皆さんも使用することができます。アバターで会話をしたり、チャットをしたりすることもできるので小学生は保護者の方と一緒に利用してください。また、小学生の夜遅くの利用は控えてください。

3D world

バーチャル同窓会場



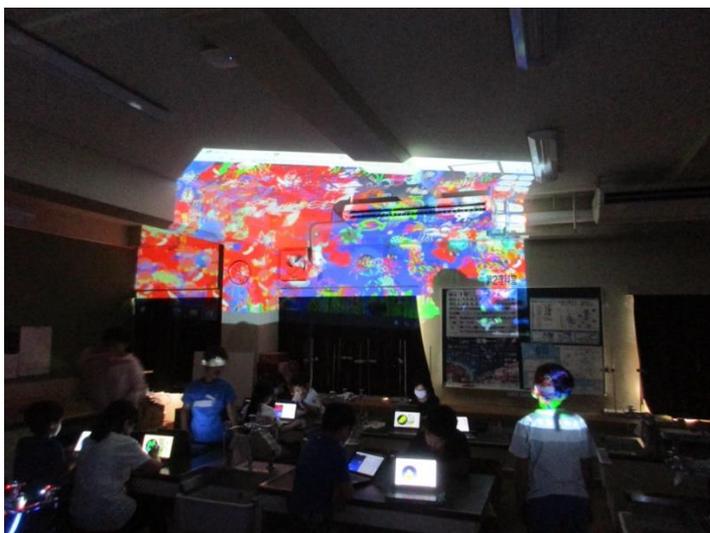
(3) 空から見た沓掛小学校

Clipchamp を使って作成した。完成した作品は、YouTube で限定公開をした。



(4) プロジェクションマッピング

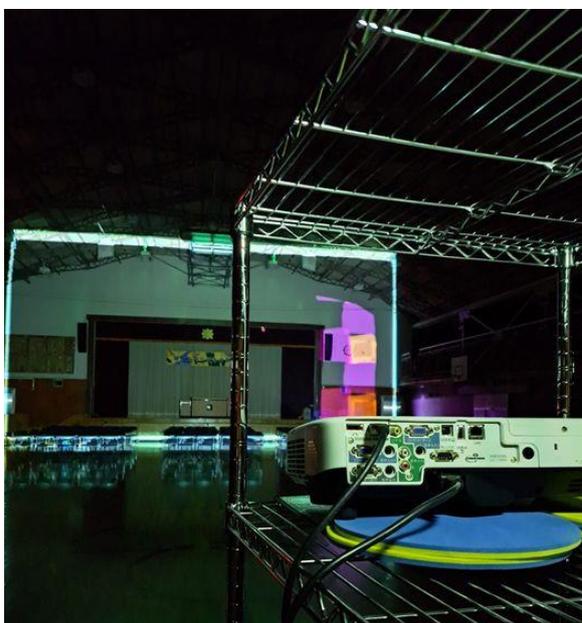
1学期にプログラミング教材「ビスケット」を使って、5年生とプログラミングクラブがそれぞれプログラミングに挑戦した。5年生は学級毎にできあがった作品をプロジェクターで発表した。プログラミングクラブは「ビスケット」を使った動く模様作りについて学び、創立70周年をお祝いするためにどのようなテーマ・作品作りをするか、次回までに考えてくることにした。



2学期に「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を活用し、ゲストティーチャーを招き、5年生がプロジェクションマッピングに挑戦した。プログラミングクラブは、70周年にちなんだ作品作りをすることに決め、「ビスケット」を使った動く模様の作品を完成させた。作品を繋ぎ合わせて動画にした。

体育館ステージに画角が合うように複数のプロジェクターで試した。

(左：4200lm (ルーメン)、右：5500lm のプロジェクター)



○参加型周年行事の開発

児童・保護者・地域・卒業生がそれぞれの立場で参加できる仕組みを開発することができた。

○学校活動の多様化と活性化

保護者や卒業生の交流が進み、学校運営協議会委員や学校支援本部に新しいメンバーが加わった。

6. 今後の課題・展望

当初は、マイクラフトを利用して学校を再現し、バーチャル同窓会を作成する予定だったが、児童の実態、ICT 環境、公開・参加方法などを検討した結果、「DOOR」の利用に変更した。

東京都教育委員会では、日本語指導が必要な子供や不登校の子供たちの居場所・学びの場として、仮想空間上に「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」を用意し、令和4年度から新宿区教育委員会と連携し、デモ運用を実施している。デモ運用を踏まえて、プラットフォームを充実するとともに、対象を8区市に拡大するなどして、令和5年9月より新たに運用を開始した。このように新たな仮想空間を活用した児童・生徒支援が進んでいるため、今回得た知見を教育現場として活用する際に役立てたい。

WEB 校内見学やプロジェクションマッピングなど児童が関わって作り上げたものを多くの方に見ていただくことで、作成した児童の達成感、成就感を得ることができた。

7. おわりに

教育活動面と研究的側面の2つの目的で研究を進め、改めて ICT 環境の充実・活用とセキュリティ面のバランスを取りながら、児童が主体的に活用できるように引き続き、実践と ICT 環境の改善を図っていく必要があると感じた。

GIGA タブレットの日常使いとして、まずは紙のドリルから AI ドリルに置き換え、保護者にも学習でのタブレット活用について啓発しながら、より良い教育活動にしたいと考える。

今後も様々な教育活動を通じて、子供たちが近い将来の生き方を描く機会を得る。そして、地域社会を担う意欲をもつことを期待する。地域の未来を拓く、主体的に行動し、参加する人材育成ができるようにしたい。

〈 協賛企業・団体 〉

FPV Robotics 株式会社「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」

合同会社デジタルポケット「ビスケット研究授業支援制度」